

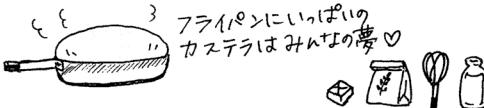
# ちょっと先取り読書の秋

昨年の夏にご好評いただいた特集の第2弾。荒田功珈琲の本棚から秋に読みたいおすすめの本をピックアップしました。ヨメの愛読ポイントとともにご紹介します。気になった本は是非お手に取ってご覧くださいね。

荒田功珈琲  
新聞  
Vol.53  
2022.8.22(月)

## ぐりとぐら

中川李枝子・作 大村百合子・絵  
フライパンで丸ごとホットケーキを焼くときいつも思い出のが「ぐりとぐら」のあい話。森の中で大きな木を見つけて「ぐり」とぐらが、かすらを作ります。「このよでいちばんすきなのはあいよりあることたべること」。最高ですね！一つ困ったのはふわふわのかすらが焼ける甘い匂いが絵本からただよってくるようで、お腹が空いてしまうんですよ…あいやつの時間に読みましょう。



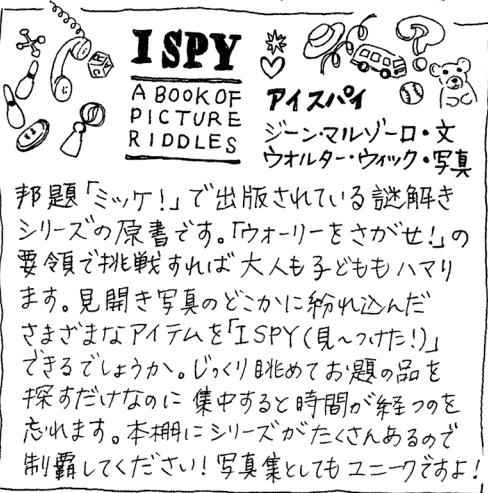
フライパンにいっぽい  
カステラはみんなの夢

## 旅の絵本 安野光雅

安野光雅さんの遊び心が詰まった絵本の傑作。どのページにも馬に乗った旅人（安野さんかな？）がいますから、一緒に世界の国々を巡り歩きましょう。どこか農村から建物だけの街中まで、人々の暮らす営みや自然風景が繊細に描かれていますが、面白いのは絵の中に童話や歴史上の出来事、名画のパロディ。たまし絵などかぎりなく盛り込まれていること。隠された小さなネタを見つけるのが醍醐味かもしれません。ちなみにこの本には言葉がなく、巻末で語られるエッセイのような角説文で少し種明かしがされています。秘密を知るほど安野さんが好きになります。旅に出たいと思わずにはいられません。



青い服の旅人  
馬で住む



## I SPY

A BOOK OF  
PICTURE  
RIDDLES

## アイスピ

ジーン・マルゾーロ・文  
ウォルタ…ウイック・写真

邦題「ミッケ！」で出版されている謎解きシリーズの原書です。「ウォーリーをさがせ！」の要領で挑戦すれば大人も子どももハマります。見開き写真のどこかに紛れ込んださまざまなアイテムを「I SPY（見つけた！）」できるでしょうか。じっくり眺めてお題の品を探すだけなのに集中すると時間が経つを感じます。本棚にシリーズがたくさんあるので制覇してください！写真集としてもユニークですよ！

## ござつね 新見南吉・作 黒井健・絵

人と人がすれ違うと相手に気持ちが伝われば…」ともどかしさや切なさを味わう日もありますが、小孤のじんは兵十が病気のお母のために捕ったうなぎをいたずらで台無にしてしまったことを悔やみます。一人ぼっちの兵十につぶやかうと、毎日せせと栗や松茸を運ぶ健気なじんがいいじりく胸がキュッとなります。でも兵十は言産の仕業がまるで舞付きません…。

国語の教科書で知っているという方も、もう一度読んでみませんか？年月を経て新鮮な感想を抱かれること請け合いです。ふんわりとやさしいタッチで描かれた黒井健さんの美しい挿絵と相まって余韻情的な物語の世界へと誘われます。



昔の農民の  
生活が伝わる  
日本の童話です

## 9月の お休み

5(月)・6(火)・12(月)・13(火)・  
20(火)・26(月) よろしくお預けします